

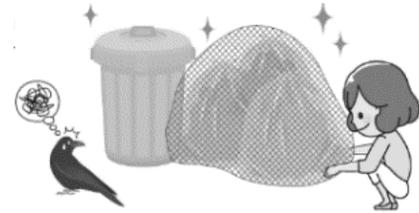
強風やカラス等によるごみの散乱を防ぐために

春先は風の強い日が多くなります。

また、カラスは春から夏にかけて繁殖期を迎え活動が活発になり、ごみ袋をついばみ、ごみを撒き散らすこともあります。集積所の、強風やカラスなどによる被害を防ぐためには、次のような方法が有効です。

防鳥用ネットを掛ける

資源やごみが風で飛んだり、カラスがごみを食べないように、ごみ袋を完全にネットで覆った上で、ネットの裾をごみ袋の下に巻き込んでください。



ごみ容器に入れて出す

風で資源やごみが飛びにくくなります。また、カラスの視覚を遮ることができます。ふたはしっかり閉めましょう。
※ごみ容器の容量は、90ℓ以下にしてください。



可燃ごみ収集曜日当日の朝、8時までに出す

カラスは日の出の30分ほど前から活動を始めます。ルールを守らず集積所へ前日に出したり、収集後に出したりすると、カラスに荒らされやすくなります。必ず、当日の朝、8時までに出しましょう。



生ごみは、紙などで包み、ごみ袋の中心に入れる

カラスは、主に視覚で食べ物を探すといわれています。生ごみを紙などに包んで、外から見えないようにしましょう。



~~ 防鳥用ネットの管理について ~~

各清掃事務所では、集積所のカラス等被害防止のため、管理できる方を対象に防鳥用ネットを貸し出しています。ネットの種類は大小2種類です。

大 3m×4m
(約6畳)

小 2m×3m
(約3畳)

**防鳥用ネットは
プラスチックを出す際の
風による飛散も防ぎます！**

注1 防鳥用ネットの設置、保管、洗浄などは地域の皆様が協力して管理をお願いします。

注2 過去に、通行人が防鳥用ネットに足を引っ掛け転倒、骨折する事故がありました。歩行者などの通行に支障がないように、収集時以外は速やかに片付けるなど、十分な管理をお願いします。

注3 防鳥用ネットは、集積所1か所につき1枚の貸し出しです。

〈清掃だよりについてのご意見・お問合せ先〉

清掃事業課 蒲田清掃事務所(調布地区)
5744-1628 6459-8201

大森清掃事務所 蒲田清掃事務所(蒲田地区)
3774-3811 6451-9535



持続可能なOTA CHOICE
このチラシは、区役所内で「回収⇒再生」した紙を使用しています。 ©大田区

清掃だよりは、大田区ホームページでも閲覧可能です。
過去1年間の清掃だよりと災害時の資源・ごみの出し方はこちら

